

## 第1回 令和8年度 二国間クレジット制度（JCM）の更なる促進に向けたセミナー

経済産業省と環境省は、2026年6月29日（月）に「令和8年度 二国間クレジット制度（JCM）の更なる促進に向けたセミナー」を開催します。本セミナーは、令和8年度に全2回の開催を予定しており、今回は第1回の開催となります。

### 背景

我が国は、途上国への温室効果ガス削減技術、製品、システム、サービス、インフラ等の普及や対策実施を通じ、実現した温室効果ガス排出削減・吸収への日本国の貢献を定量的に評価するとともに、日本国の削減目標の達成に活用するためJCMを構築・実施しています。地球温暖化対策計画（令和7年2月18日閣議決定）では、「グローバルサウス諸国等への脱炭素技術、製品、システム、サービス、インフラ等の普及や対策実施を通じ、実現した温室効果ガス排出削減・吸収への我が国の貢献を定量的に評価するとともに、我が国のNDCの達成に活用するため、JCMを構築・実施していく」等の目標を掲げており、政府全体としてJCMを推進しております。JCMを構築したパートナー国数は2026年5月末時点で32か国、JCMプロジェクトの総数は300件以上となっております。

また、2026年4月から開始されたGX-ETSの第2フェーズにおいて、JCMクレジットが適格クレジットとなり、実排出量の10%を上限としてクレジットの利用が認められることから、足下では民間資金を中心とするJCMプロジェクト（民間JCM）を組成する動きが本格化しつつあります。政府としても、民間JCMを拡大するため、大型案件への伴走支援、パートナー国側のボトルネック解消、資金支援事業の効率化、JCMクレジット取引市場の早期実現などに取り組んでいく方針です。一方、民間JCMプロジェクトを成功させる確度を上げるためには、組成の段階で留意すべき事項（相手国の制度的な問題、契約書面など）が存在します。今回のセミナーでは、これらの諸点について事業者の皆様を紹介・解説し、民間JCMに取り組んでいただく一助となればと考えております。

さらに、パリ協定6条2項のルールに沿ってパートナー国から日本へ国際移転されたJCMクレジットは、日本のNDC目標達成に計上されますが、2030年NDCに利用するためには、国連への報告に間に合うようにJCMクレジットを無効化する手続が必要になります。この点において、事業者の皆様が留意すべき事項、本件についての政府の対応・考え方について紹介します。

### 本セミナーの目的

本セミナーの目的は次の通りです。

- これまで以上に多くの事業者に対してJCMに対する理解を促進し、JCMの概要、最新動向、各国の動き等を周知することで関心を高め、JCM事業化を検討いただく機会を提供する。
- 民間JCMを検討・実施している事業者向けに、JCMの最新動向及び施策の方向性を共有する。
- 民間JCMで事業者がプロジェクト実施にあたり考慮・検討すべき事項についての解説を通じて、民間JCMの組成を促進する。
- JCMクレジットのNDC利用と国連への報告に関連する論点と政府の対応・考え方について紹介・解説する。

## 本セミナーの対象者

本セミナーで想定する対象者は次の通りです。

- JCMを活用して海外（主に開発途上国）での脱炭素化技術の展開に関心がある事業者
- 特に民間JCMプロジェクトに関心があり、政府の関連施策やプロジェクト組成に当たっての留意点を把握したい事業者
- GX-ETSにおいてJCMクレジットの活用を検討されている事業者

## 概要

- 日時：2026年6月29日（月） 14:30-16:30（14:10開場）
- 場所：日比谷国際ビルコンファレンススクエア 8F <<https://hibikoku.tokyo/access/>>
- 形式：会場120名、オンライン（Zoom）最大500名のハイブリッド形式
- 主催：経済産業省、環境省
- 事務局：三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社
- 申込み：[https://murc-jp.zoom.us/webinar/register/WN\\_o6-yz76PS7yplCIbnLpLTg](https://murc-jp.zoom.us/webinar/register/WN_o6-yz76PS7yplCIbnLpLTg)

\*会場申込が先着120名に達した後はオンラインでの参加をお願いさせていただきます。

**アジェンダ** ※アジェンダは変更される可能性があります。

時間	内容	発表者
14:30-14:35 (5分)	開会挨拶	環境省 地球環境局国際脱炭素移行推進・環境インフラ担当参事官付JCM推進室 室長 辻 景太郎
セッション1 JCMの最新動向、施策の方向性		
14:35-14:50 (15分)	JCMに関する最新動向	経済産業省 GXグループ 地球環境対策室 係長 雑賀 晃
14:50-15:05 (15分)	JCMに関する施策の方向性	環境省 地球環境局国際脱炭素移行推進・環境インフラ担当参事官付JCM推進室 室長 辻 景太郎
15:05-15:15 (10分)	質疑応答	
15:15-15:25 (10分)	休憩	
セッション2 民間JCM活用促進、JCMクレジットの取り扱い		
15:25-15:45 (20分)	民間JCM促進に向けた調査報告書の紹介（民間JCM事業者がプロジェクト実施にあたり考慮・検討すべき事項の紹介）	森・濱田松本法律事務所 パートナー・弁護士 武川 丈士
15:45-16:05 (20分)	JCMクレジットの年限問題	経済産業省 GXグループ 地球環境対策室 地球環境問題交渉官 木村 範尋  環境省 地球環境局国際脱炭素移行推進・環境インフラ担当参事官付JCM推進室 室長 辻 景太郎
16:05-16:25 (20分)	質疑応答	
閉会		
16:25-16:30 (5分)	閉会挨拶	経済産業省 GXグループ 地球環境対策室 地球環境問題交渉官 木村 範尋